



美東小だより



【学校教育目標】

「ふるさと美東を愛し 夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」

美東小初の『全校遠足』 思い出の1ページを綴る

10月後半に入り、朝晩が肌寒くなり、紅葉も色付きはじめ、めっきりと秋の深まりを感じます。そんな中、10月17日(金)は今シーズン最後の真夏日に迫ろうかという気温と透き通った秋空のもと、「全校遠足」を開催しました。

この「全校遠足」の企画の発端は、5月上旬に6年生と地域の方・教職員で話し合い(熟議)の時でした。熟議のテーマは「美東小が開校したことで『やってみたいこと』は何か」で、ある児童が「美東町内を全校で歩いてみたい」という意見を出しました。



全校遠足の思い出

美東小開校にあたり、ふるさととは「美東全域」です。この児童の意見や思いを形にするために準備が始まりました。

さあどんな「全校遠足」だったのでしょうか?裏面にその様子を載せています。

歴史と伝統を引き継ぐ児童たち

私たちの「ふるさと」にはさまざまな歴史と文化があります。学校教育では「大田・絵堂の戦い」など平和学習、秋吉台などの自然の魅力に関わるジオ学習、「食」に関わる学習などを実施しています。地域では、歴史と伝統を引き継ぐ行事が行われています。10月半ばには、本校児童たちが綾木八幡宮祭で太鼓奉納「きずな太鼓」、真長田八幡宮秋季例大祭で「天磐戸神楽舞」を行いました。

柔道の創始者である 嘉納 治五郎 氏は「伝統について」次のように語っています。

伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを言う。

心を一つに「きずな太鼓」

自分にとっては最後の披露する場でしたが、綾木のメンバーで、心一つにやりきることができたのでとても良かったです。

地域の方からもほめていただき、うれしかったです。

江戸時代から伝わった伝統的な「きずな太鼓」なので、これからも引き継いでいってほしいと思います。



きずな太鼓

6年 小田村 遥

伝統の重みを感じ、挑戦してみたい

母に勧められて、神楽舞に挑戦しました。本番では、少し緊張し、道具も練習の時のものより重かったです。練習時間が短くて、うまくできないところもありましたが、何とか最後までできてホッとしました。

もし中学生になっても参加できるのであれば、また神楽舞に挑戦してみたいです。



神楽舞

6年 鶴井 倖

10月17日開催「全校遠足」をふりかえる



校歌を歌いながら歩く



沿道からの温かい応援



交通安全の見守り



綾木ふるさとセンター



下級生の世話をする上級生



お弁当タイム



10km完歩した「ゴール」



真長田定住センター



クイズの表彰式

～「全校遠足」をふりかえて～ にこにこ班 班長の感想より

- ・班のみんなで声をかけ合ったり、地域の方々に校歌を歌って元気を与えることができたりして楽しく遠足することができました。
- ・みんな楽しそうだったし、地域の人と一緒に歩くことができて良かったです。
- ・10kmを歩くのは大変だったけど、班のみんなで協力して歩くことができたり、美東の自然のよさを知れたりしたのでうれしかったです。
- ・班長として、みんなの様子を見ながら歩くことができました。疲れている人を助けながら歩くことができ、協力してゴールをめざすことができました。
- ・けがもなく、みんなで10kmを歩き切ることができてうれしかったです。下級生も班長の言うことを聞いていたので良かったです。
- ・クイズを楽しみながら歩くことができました。クイズを作ってくださった方、ありがとうございます。

【お礼】

美東小学校としての初めての「全校遠足」の開催におきまして、今年度は、綾木・真長田ルート10kmを歩きました。

児童と共に一緒に歩いてくださった方々、美東にまつわるクイズラリーを企画・運営をしてくださったPTA運営委員及び綾木・真長田公民館の方々、交通整備をしてくださった方々、当日沿道で応援してくださった方々など、たくさんの方々にお世話になりました。

地域・保護者の皆様方の支えがあり、児童たちにとって、思い出に残る、充実した遠足になりましたことを感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

